

緑 蔭

発行所
白鵬女子高等学校
緑蔭会事務局
横浜市鶴見区北寺尾4-10-13
電話 045-581-6721
編集人 青木 早苗
福坂 安久
安口 勝比古
印刷所 デイトナプリント
川崎市幸区都野37-2
電話 044-522-2556

Aim High ～高みを目指して～ 校長 玉川匡彦



中庭の桜の蕾も大きくなり始め、日々、穏やかな春の訪れを感じる頃になりました。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心から、お祝い申し上げます。3年間の教育課程を無事修了し、卒業を迎えられたことは、皆さん一人ひとりのたゆまぬ努力の結果です。また、保護者の皆様におかれましては、3年間で成長されたご息女に感慨も入のことと存じます。ご卒業をお慶び申し上げますとともに、本校の教育活動に多大なご理解とご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

皆さんは令和3年4月、新しい制服に身を包み、歴史と伝統ある白鵬女子高等学校に入学してきました。

この頃は新型コロナウイルス感染症が蔓延してから1年が経った頃でした。感染症対策として、入学式も時間短縮で行い、1年生の時は短縮授業やオンライン授業を行い、体育祭や文化祭も含めて、多くの学校生活が制限の中での実施となりました。2年生からは、感染症対策を徹底しながら平常授業となりました。また、修学旅行も時期や行先を変更

して実施することができ、学校生活に少し平常が戻り始めてきました。

そして3年生になってからは、授業も行事も制限のない学校生活となりました。白鵬アリーナもリニューアルし、フェンスのとれた中庭は生徒たちの憩いの場として戻ってきました。コロナ禍前には当たり前だった日常を高校生活最後の年に過ごすことができ、本当に良かったと感じました。

さて、本校ではスローガンとして「Aim High ～高みを目指して～」を掲げています。生徒一人ひとりが、夢や目標の実現に向けてベストを尽くして、ワンランクアップした自分へと成長してほしいという願いからです。

皆さんは入学当時と今の自分を比べてみて、どのくらい成長できたでしょうか。

例えば、進路実績では、国立の東京外国語大学をはじめ、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、立教大学、法政大学、青山学院大学、立命館大学などの難関私立大学や、東京造形大学、女子美術大学、日本体育大学、短大や専門学校、就職などコースの特色ある学びを経て進路を実現した生徒が多数おります。また、リーズ大学（イギリス）やシェフィールド大学（イギリス）など大学世界ランキング上位校にも合格者が出ています。

部活動では、陸上部、テニス部、体操競技部、水泳部（競泳部門・水球部門）、スキー部、ダンス部がインターハイ、全国大会出場を果たしました。その他の運動部・文化部でも、大会やコンクールなどで日々

の練習の成果を発揮しています。

行事においても、体育祭、記念祭では、最上級生としての自覚を持ち、2年生、1年生を引っ張っていく姿勢が多々見られました。どのようにしたら白鵬生らしさを出せるものができるのか、思い出に残る行事にできるのか。試行錯誤しながらも、知恵を出し合って前に進むたくましさを感じしました。

まさに、「Aim High ～高みを目指して～」を皆さんは体現してくれていたと思います。皆さんの背中を見て、きっと1年生、2年生がこの姿勢を引き継いでくれることでしょう。

そして、Aim High はこれで終わりではありません。4月からは新たな人生がスタートします。きっと様々なことが起こるでしょう。もし、中々思うように進まない時があったら、それは自分が成長する時だ思うようにしてください。一度立ち止まって、頭の先から足の爪先まで、全身で悩み、考えながら、ベストだと思う道を選択してみてください。失敗を恐れず、自分の底力を信じましょう。きっと、新しい扉が見えてきます。

白鵬女子高校は、あと数年で創立90周年を迎えます。多くの先輩方が築いてきた歴史と伝統の上に、現在の本校があります。今後、100年、150年と続いていく女子校へ発展できるよう、皆さんが加えてくれた歴史の1ページを大切にしていきます。そして、いつでも、母校に顔を見せに来てください。

4月からの皆さんのご活躍を、心から祈念いたします。卒業おめでとうございます。

(2) 令和6年3月3日

同窓会だより

「守破離」の「守」

3 学年主任

坂口勝比古



「守破離」とは、修行の段階をあらわす教えで、620年前に能の世阿弥が『風姿花伝』のなかで展開した演劇論の一部です。この「守破離」という言葉は、現在でも武道や芸能などの世界でよく使われています。

ざっくりと説明すると、「守」の段階では、指導者（親・先生・上司・先輩など）の言うことをとにかく守る。そして、その行動を真似たりすることで、言わんとしている内容を自分のものにしていく。すべてを習得できたと思うまでは、自分ではそう思わなくても指導者の言う通りに行動する。「破」の段階では、指導者の話を守るだけではなく、破る行為を試してみる。破るといっても悪い意味ではありません。独自に工夫をして、指導者の話になかった方法を試してみるわけです。「離」の段階では、指導者のもとから離れて、自分自身で学んだ内容をさらに発展させる。という感じです。これは、別に武道や芸能の世界だけでなく、どのような世界でも通用し、応用できる考え方です。

4月から新しいステージに進出する皆さん、くれぐれも「守」をおろそかにしてはいけませんよ。「守」を抜かし、いきなり「破」「離」に行かないでくださいね。どんな人にも人生には壁があるもので

す。壁にぶつかったとき、「守」がしっかりしている人であれば、基本ができていますので、自分の力で解決することができます。しかし、「守」をおろそかにしている人は、基本が理解できていないため、問題を自分で解決することが困難になり、その結果、間違った方向に行ってしまったたり、うまくいかずに諦めてしまったりしてしまいます。「守」をおろそかにしてしまう人は、往々にして自分の力を過信している。または、飽きっぽくて辛抱強さが足りない傾向があるように思います。ですから、一を理解する前に、二をしてしまいます。二を理解する前に、三がしたくなります。結果として一も二も三も中途半端になります。大切なことは、素直で謙虚な気持ちを忘れないことです。そしてある程度の辛抱ができることです。私の知人に守君がいます。おそらく守君の親はわが子にそういう人間になってもらいたくて命名したと思います。「名は体を表す」といいますが、知人の守君は非常に謙虚な人物です。辛抱強い人物です。「守」を大切にしている人物です。彼はこれまで私なら無理だと思われるような壁という壁を乗り越えてきました。今後壁にぶつかったとしても、きっと乗り越えるでしょう。私はそんな彼を尊敬しています。

最後に、人生にはどうしても一人で乗り越えられない壁もあるように思います。その時、どれだけ周囲から協力してもらえるか。そこでその人の価値が決まるといっ

てもいいかもしれません。人の価値はその人の得たものではなく、その人が与えたもので測られます。皆さん、是非周囲に与える人物になってください。「守」を大切にし、周囲に「気配り」ができるだけで大丈夫だと思います。そうすれば、やがて幸せが訪れるでしょう。皆さんが今度どのようなドラマを展開するかが楽しみです。また会う日まで。

卒業によせて

3 学年副主任

戸崎 小百合



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましてもお嬢様のご卒業おめでとうございます。また、3年間ご理解、ご協力いただき誠にありがとうございました。1年生から3年間フードコーディネイトコース担任、3学年副主任として、私も皆さんと共に高校生活を送ることができたことにたいへん感謝しています。

コロナの影響で制限されてしまうことも多い高校生活でしたが、皆さんだからこそコロナ禍にも負けず、できたことがたくさんあったと思っています。よく頑張ってくれました。3年間諦めなかった自分、投げ出さなかった自分、頑張った自分をたくさん褒めてあげてください。これからの進む道でも、できなかったことを悔やむのではな

く、できたことをたくさん覚えて前に進んでいける人になってほしいと願っています。

高校でのさまざまな場面で得た学びは、いつかきっと皆さんの助けとなり糧となります。私の担当教科である家庭科の「家庭基礎」では、豊かな人生を目指し、一生を見通し、生活を広げることを目標に学習しました。これからの人生が豊かになるための何かしらのお手伝いができているならば嬉しいです。他教科も含め、高校での学びは卒業となりますが、学ぶこと、そして成長することは一生継続していくもので卒業はありません。これからはぜひ、たくさんのことを学び続けてください。さまざまな人と出会い、経験をし、もっともっと皆さんが成長していくことを期待しています。

最後に、高校時代の思い出を大切に、未来への希望を胸に自分らしい道を歩んでください。皆さんが自分らしく個性を活かし、これからどのように活躍していくかを楽しみにしています。これからの人生が皆さんにとって素晴らしいものとなりますよう心から祈っております。

3年生のみなさんへ

3年4組担任
佐藤 初海



ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、ご息女のご卒業誠におめでとうございます。

まずは、これまで様々な場面で支えてくれた家族に感謝しましょう。周りを見渡すと皆さんにとって大切な人が大勢いるはずです。今があるのはその人たちのお陰です。これからは感謝の気持ちを忘れずに誰かを支えてあげられるような人になって下さい。

時間が経つのはあっという間ですが、この3年間で多くのことを経験したと思います。楽しかったことや嬉しかったことはもちろん、時には悔しかった思い出もあるでしょう。自分自身の高校生活を振り返っても、学校生活や進路活動を含めて新しい経験と学びの連続でした。学年としての関わりは1年間でしたが、皆さんの今しかない高校生活に携われたことを嬉しく思います。特にこの1年間は進路や将来にむけて考える時間が多かったはずです。その中で、3年4組の担任としても一緒に頭を悩ませ日々取り組んだことや高校生活最後の体育祭や記念祭が出来たことは私にとっても大きな1年となりました。

4月からはそれぞれが新しい進路に向かって歩み始めます。これからも多くのことを経験し、壁にぶつかることもあると思います。そんな時は乗り越えられないと簡単に諦めるのではなく、どうしたら乗り越え、突き進めるかを考え、粘り努力してください。そして時には白鵬での高校生活を思い出してみてください。きっと友達や先生方との思い出や言葉が力やヒントをくれます。自分なりに乗り越えた経験や行動が次の挑戦への

糧となるはずです。また、時間が経っていき振り返ってみると壁だと思っていたことが実際にはそうでもなくなったりします。今後、何が、どこで、どう繋がるかは誰にも分かりません。これからも自分で限界を作らずに自信を持って色々なことに挑戦してください。皆さんが次のステージで大きく飛躍することを期待しています。

ご卒業おめでとう ございます

3年7組担任
野口 麻衣子



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さまへ心よりお祝い申し上げます。入学から今日までの3年間は、皆さんにとってどのような3年間でしたか？楽しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったことなど、様々な思い出が浮かんでくると思います。

私は、白鵬女子に着任と同時に7組の担任を任されることになりました。入学式後のHRでの緊張感はいまだに忘れません。どんな1年になるかな、人生のうちの大切な3年間はどんな3年間になるのかな、そんな期待と少しの不安がありました。1年次にはオンライン授業も多くあり、登校がままならない時期もありました。学校イベントも完全に実施されるのは2年生からで「これまで」といいながらこれまでを経験していなかった皆さんにとっては、試行錯

(4) 令和6年3月3日

同窓会だより

誤をしながらの学校イベントだったのではないかなと思います。そんな前が見えにくい状況の中でもこれまで仲間と励まし協力し合い、多くの困難を乗り越えて、皆さんはここまで大きく成長をしてきました。

今日は私が学生時代に大切にしていた言葉を紹介します。「置かれた場所で咲きなさい」この言葉は、岡山県ノートルダム清心女子大学の元学長、故・渡辺和子さんの言葉です。今咲かなくても、時間をかけて努力することで、土の中の根を伸ばし、人や環境といった水や太陽の光を浴び、いつか美しい花を咲かせるということだと、私は考えています。つらくても努力をし、感謝の気持ちがあれば必ず花咲くときが来ます。そして、何度でも咲くことができます。

皆さんは新しい門出に立ち、それぞれの人生を歩んでいきます。これまでの3年間以上に難しい壁にぶつかることが多くあると思います。その時は、高校での3年間を思い出してみてください。皆さんの周りには、一緒に壁を乗り越えられる仲間がたくさんいます。どこでも何度でも咲くことができます。さらに成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

ご卒業おめでとう ございます

3年11組担任

平野 達朗



卒業おめでとうございます。皆さんとは入学式で出会って、3年間同じ学年で過ごしてきました。皆さんにとってはどんな3年間でしたか。新型コロナウイルスがまだ収束していないなか高校生になり、1年生の頃はまだ色んな制限があったと思います。それから少しずつ制限がなくなり、コロナ前のような日常になっていきました。それでも、まだ完全に前のようになったわけではないですし、リモート授業など新しいことも定着してきて、新しい日常になったと感じています。私は、「パンデミックは社会を変えた」と言われているように、この3年間は新しい日常に対応するため、少し忙しくあっという間の3年間だったように感じました。

さて、新型コロナウイルスだけではなく、大きく変わったことがもう一つありました。それは18歳で成人（大人）になることです。卒業式を迎えるときには、もうほとんどの人は大人になっていると思います。卒業して進学する人も、就職する人も、自分の道を進む人も、4月1日にはもう全員大人です。皆さんはどんな大人になりたいですか。大人になるってどういうことかはっきり答えることはできませんが、これまでルールに縛られてできなかったことができるよ

うになると思います。だけど、自由が増える分、責任も増えます。また、大人になってもルールに縛られることはあるし、新しい環境には新しいルールがあります。その時に、ルールが気に食わないから「ルールを破る」のではなく「ルールを変える」ことができる大人なってほしいと思います。人間以外の生物も、環境に適応して変化していくものです。ずっと同じでは滅んでしまいます。しかし、ルールを変えることは大変です。今の大人が作った古いルールを変えるには、皆さんのように新しい考えをもった人たちの力が必要です。また、反抗してルールを破る大人より、新しいルールを作るほうがカッコイイ大人だと思います。

最後に、皆さんに会えた3年間は色んなことを経験できた3年間でした。皆さんと過ごして、色んな可能性を見ることができて、色んなことを学ぶことができました。大変なこともありましたが、皆さんと一緒に学べた3年間は楽しかったです。ありがとうございました。卒業は一つの区切りですが、学ぶことは何歳になっても続けていくことができます。これからの人生も、皆さんにとって学びある良い人生になるようにお祈りいたします。

令和6年度入学生の 募集活動を 振り返って

入試広報部長
深瀬 恭一



入試広報部は生徒募集と入学試験の実施を担当しています。本校で行うオープンスクールや学校説明会を始め、全私学展、公私合同説明・相談会など学校外で行われるイベントなどを通じて、中学生・保護者の皆様に本校をアピールし、受験・入学につなげていきます。その他、パンフレット等のツール、ホームページ・LINE・インスタグラムでの情報発信も行っています。今年はコロナ感染症対策が大幅に緩和されたこともあり、学校内外での各種入試イベントは昨年以上の方々にお越しいただきました。延べ数にしますと3,000人以上の中学生・保護者の方々に、全教職員で本校をアピールしてきました。イベントでは、母となられた卒業生がご息女とともに来校し、リニューアルした校舎や2023年3月に完成した白鵬アリーナ、大きく変化したコース制、部活動の活躍などに驚きつつ、母校の発展を喜ぶ声もありました。

広報活動とは少し異なりますが、今年度はテレビ番組に本校が複数回取り上げられました。フジテレビ系の朝の情報番組「めざましテレビ」と、テレビ朝日系の音楽番組「Music Station」

ではダンス部が取り上げられ、めざましテレビでは男性グループ「JO1」と、Music Stationでは「新しい学校のリーダーズ」とのダンスコラボが放送されました。また、フジテレビ系のバラエティ番組「新しいカギ」の人気コーナー「学校かくれんぼ」では、お笑い芸人や男性アイドル「なにわ男子」が、全校生徒と校舎全域を使ってかくれんぼを行う様子が放送されました。近所の方からは、「最近よくテレビに出ているので、地元としてうれしい」と、声をかけていただくこともありました。放送後の反響も大きく、多くの方々に本校を知っていただく機会になったのではないかと思います。

私立学校を取り巻く状況は、ここ近年大きく変化しています。神奈川県内の中学生総数も、今後は年々減少をたどっていくことが予想されており、女子校の生徒募集は厳しい状況にあります。東京都大田区にある蒲田女子高等学校は、2024年4月より羽田国際高等学校と名称を変更し、共学校としてスタートします。また、鎌倉女子大学中等部・高等部は、2026年度入学生より共学化となります。公立高校においても統廃合が行われ、中学生の人数がこの先減少していくことに伴い、このような状況は今後も続いていくものと思われます。

本校は創立以来、女子教育の伝統を守りつつ、常に改革を進めながら、社会で、海外で、

スポーツで、様々な世界で活躍できる女性の育成を目指しています。来たる90周年、100周年に向けて更なる発展を遂げられるよう、微力ながら尽力してまいりたいと思います。

出来ることを 一所懸命に取り組む ことが大事

進路指導部長
大堀 英二



「人の行ふべきかぎりをば」

行ふが人の道」

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆さん、卒業に向けて支えていただき、ありがとうございました。

冒頭の一節は、江戸時代の国学者・本居宣長著『玉くしげ』の言葉です。本居宣長は『源氏物語』や『古事記』といった古典文学の注釈などの国学的研究にすぐれた業績を残した人で、この一節も日本人の伝統と信念を受けて書き残された言葉です。「自分の出来ることを一所懸命にやる。報われる報われないは人の力の及ばないこと。このことを心得て大いなる事にあたるべし」という意味の言葉です。

進学、就職といった人生における岐路に向けて、3年時は本当に苦しい1年間を過ごします。自分を見つめ、将来のやりたい事に悩み、進路を決めていきま

(6) 令和6年3月3日

同窓会だより

す。大学全入時代だからこそ、大学に進むのか、専門学校に進むのか、就職していくのかを真剣に考えていきます。人生の岐路に立ち、いくつもの選択肢がある中で、自分で選んでいき挑戦していきます。

そして、今年の3年生は、その挑戦に向けて自分の出来ることを一所懸命に取り組んでいました。進路先の学校を深く知るために、その学校の教育理念を知るために、そして自分が求めている学校であるかを深く理解するために、進路ガイダンスやオープンキャンパスに足繁く通いました。また、多くの先生に面接練習をしてもらい、自分の表現力の向上を図り、幅広い視野を持ち世の中の問題に向き合い考えていく力を身に付けていました。プレゼンテーション発表や自己制作の作品発表の内容を先生と共に何度も練り直し、少しでも良いものを作り上げるために自分に出来ることを時間かけて取り組んでいました。そして高3の7月から高校生の就職活動がスタートすることもあり、夏休みを返上して会社見学、面接練習をしている生徒も見受けられました。多くの生徒が自分の出来ることを一所懸命に取り組み、進路結果につなげていました。

そして、大学の一般選抜受験を選択した人は、自分の学力と向き合い、どのようにしたら学力が上がるか、自分の出来ることを手当たり次第取り組み、自分と戦うことを強いられ続けた

毎日を過ごしていました。また自分の出来ることを一所懸命取り組んでも、思うように行かないで悩んでいる人もいました。それでも前を向くことで、少しずつ学力が伸びていました。この文章を書いている時には、一般選抜受験の可否は出ていませんが、その努力の結果がすぐに出るのか、まだ先なのかは人の力では測れません。それでも自分の出来ることを一所懸命にやるのが、「人の道」つまりその人の人生だと先人は言っています。

努力は積み重ねであり経験です。5年後、10年後かもしれませんが、それぞれの「大いなる事」は訪れてきます。努力し続ける人こそが人のあるべき姿であり、「人の道」だと思います。日本には「努力は必ず報われる」という言葉があるように、自分の出来ることを一所懸命にやり続けることが大事です。高校卒業は、人生の岐路でありつつ、通過点です。まだまだ大きな未来が拓けています。努力することを忘れず、素敵な人生を送ってください。いつも応援しています。卒業おめでとうございます！

◎令和6年度入試・合格実績
国立東京外国語大学・早稲田大学・慶應義塾大学・上智大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・法政大学・関西学院大学・立命館大学・明治学院大学・國學院大学・獨協大学・日本大学・東洋大学・駒澤大学・専修大学・東京造形大学・女子美術大学・他多数

〈海外大学〉

The University of Sheffield (UK)・Royal Holloway, University of London(UK)・University of Leeds(UK)・University of Sussex(UK)・Cardiffe University(UK)・他多数



3年間を支えた言葉

今年度卒業3年1組

陸上競技部 古田島 彩

「小さな努力の積み重ね」これは陸上競技部監督の佐野先生からかけていただいた言葉です。中学時代、実績のなかった私は、もっと強くなりたい、高いレベルで陸上競技に取り組みたいという思いから、白鵬女子高校に入学しました。

しかし、なかなか思うような結果が出せず、2年次の夏頃までは苦しい期間が続きました。インターハイでも、駅伝でも全国の舞台に立てず、自分自身が入学前に思い描いていた理想とは大きくかけ離れてしまいました。それでも、思い通りにいかない時は、先生からのこの言葉を思い出し、前に進んでいくことが出来ました。小さなことでも

コツコツ積み重ねていけば必ず力になる、ライバルに勝つことができる、夢を叶えることができる、そう信じて、諦めずに走り続け、2年次の終わりには世界の舞台に立つことができました。中学生の頃には想像もしていなかった舞台でした。この経験は、私自身の感覚を大きく変えるものであり、更に高みを目指したいという原動力にもなりました。自分を信じてチャンスを与えてくださった佐野先生には感謝の想いしかありません。このようなチャンスを掴めたのは、大好きな陸上競技に打ち込むことが出来る環境があり、佐野先生・出水田コーチ・馬場先生の熱いご指導があったからです。また、競技力向上だけでなく、人として成長することが出来ました。

私は、強い思いと正しい努力を続けることが出来れば、夢を叶えられる、とこの3年間で身をもって感じました。

卒業後の目標は、再び日本代表として世界の舞台で戦うことです。また、大学駅伝でチームに貢献し、個人ではインカレの入賞を目指します。大学入学後は、高校3年間より厳しいことが待っているかもしれません。それでも、白鵬女子陸上競技部での3年間で経験してきたことを活かし、どんなことにも挑戦していきます。

どんな時も本気で向き合ってくださいました先生方、支え続けてくれた家族、応援してくださった方々へ、感謝の思いを伝えられるよう大きな舞台で戦える選手に成長していきます。



「自分の変化」 について

今年度卒業3年3組 徐 昕怡

白鵬女子高等学校での生活が、今、終わろうとしています。3年間の自分を振り返ってみると、自分自身が心身ともに大きく成長することができました。そして、将来就きたい職業の夢を叶えるために日々努力した結果、学力面においてもレベルアップが図れて、「自分の変化」を実感しています。

高校に入学する前の私は、日本語が分からないことが原因で、あまり人と接することをしませんでした。しかし、高校入学をきっかけとして、自分をプラスの意味でリセットし、自ら積極的に友達を作ることにも挑戦しました。これまでは、ものごとに対して、ネガティブになることが多くありましたが、白鵬女子高等学校の国際コースで過ごしてからは、私と同じ中国の友人や、スリランカ、モンゴル、エジプト、フィリピンなど、グローバルなクラス環境の中で、分からないところを親切に教えてくれる日本人の友人たちに支えられて、楽しく充実した高校生活を過ごすことができました。心から感謝しています。それぞれの国の歴史や生活習慣、言語文化などさまざまですが、集まると色々な話題で盛り上がり、視野が広がりました。このことは、国際コースなら

(8) 令和6年3月3日

同窓会だより

ではの魅力です。私は、高校3年間を通して多くの友人を作ることができ、同時に日本語も上達できました。そして、自分自身の中で課題だったプレゼンテーションのスキルについては、当時、どのように作成すれば良いか不安で頭が真っ白でした。自分が伝えたいことを話すことに苦勞し、時には失敗もありました。しかし、そのような時、もう一度自分自身の心を引き締めた場面、先生方が励まし応援して下さったり、友達が慰めてくれたりしました。一見、小さいことのようにですが、私にとってそれは大きな原動力となりました。その後のプレゼンテーションでは、自信を持って完成度の高い作品を作り上げることができました。

さらに、日々の学校生活の中で、年間を通して学校行事にも積極的に参加しました。本校の入試関係のイベントや記念祭において、国際コースの特長と魅力についてプレゼンテーションを行いました。高校に入学する前までは、多くの皆さんの前で自分の事をしっかり伝えることができるなんて想像できませんでした。授業の中で多くの発表する機会をいただいたおかげで、また先生方からのアドバイスをもらうことで、自分自身の可能性を発掘することができ、私にとって「良い変化」ができたと考えています。この経験から、「たとえ苦手なことがあったとしても、取り敢えずチャレンジしてみる」、と言った精神が大切であると実感しました。

学習活動における最大の目標は、日本語の語学力を向上させることでした。毎週の日本語授業を通して普段の文法や単語の勉強だけではなく、大学入試に向けた小論文練習や面接準備など、先生達が丁寧に教えて下さいました。また、「外国にルーツを持つ生徒における日本語発表会」という活動もありました。本番に向けて日本語のイントネーションを調べたり、日本能力を向上させたりすることができました。3年間を通して、多くの先生方から指導を受け、スキルアップすることができたことは、私にとって大きな財産です。

4月から、新たなステージに立つことになります。こらからの私は、より前向きに自信を持っ

てものごとに取り組むことができると思います。この3年間の「自分の変化」を糧として、将来に向けた目標をしっかりと定め、「なりたい自分」に向けて、努力を続けていきたいと思います。



目標を叶えるために

今年度卒業3年7組

水泳部 小島優々美

私は中学で水泳を引退しようと考えていました。ですが、コロナウイルスの影響で全国中学がなくなり、水泳に対して心残りがあったので水泳を続けることを決めました。水泳を続けるからにはインターハイで結果を残したいと思い、白鵬女子高校に



入学しました。

白鵬の水泳部は部員も少なく、神奈川県の中でも強くはありませんでした。練習は各自所属クラブで行い、定期的に行われるミーティングや試合に出場する際に部活として活動していました。

高校1年次には顧問の先生と2人でインターハイに行きました。初めてのインターハイでわからないことも多く不安もありましたが、100m 平泳ぎで同着3位という結果を残すことができました。高校2年次には7人と人数も増え、不安も減り目標であったインターハイで優勝するというのを達成できました。高校3年次は100m 平泳ぎは2位でしたが、白鵬女子高校で初めて400m メドレーリレーで決勝に進出し、5位という結果を残すことができました。

このような結果を残すことができたのは、恵まれた同期や後輩がいたからだと思います。水泳は個人競技ですが、応援はとても力になり結果につながると感じました。家族や仲間などたくさんの人に支えられてできるスポーツだと思います。高校3年間を通して選手としてとても成長することができました。中学の時に水泳を続けるという選択をしたこと、白鵬女子高校の水泳部の一員として水泳をすることができて良かったなと思います。卒業後は大学に進学し競技を続けていきます。今まで以上に競技力を高め、目標に向かって頑張っていきます。



輝く未来へ

1年7組担任
馬場 一葉
(平成29年度卒業)



「ご卒業おめでとうございます。」

6年前、私も同じ言葉で見送られ、白鵬女子高等学校を旅立ちました。まさか母校で、教員という立場になりこの言葉で見送る日が来るとは、夢にも思いませんでした。6年前あの場にいた教職員や友人でさえ、誰一人として想像していなかったことでしょう。私も皆さんと同じようにこの学校で3年間を過ごし、玉川校長をはじめ、当時担任であった福安先生、梅本先生など、現在も在籍している先生方にさまざまなことを学び、今に至ります。在校時に「先生」と慕っていた方々と職員室で机を並べ、「馬場先生」と呼ばれてともに職務にあたることは、いまだにどこか不思議でくすぐったい思いです。

さて、私は県内屈指の強豪校である本校陸上競技部に、マネージャーとして入部したいと自ら直談判をして入学しました。後にも先にも陸上競技部にマネージャーは在籍しておりません

ので、異例の出来事です。そんな私を寛容に受け入れていただいた本校には大変感謝しております。この学校で人として育てていただいたことで、有り難いことにマネージャーとしてスポーツ推薦をいただき大学へ進学し、今年度からご縁があり母校へ赴任する運びとなりました。

マネージャーという仕事は決して目立つような存在ではありません。黒子に徹し影のような存在です。しかし、暗闇で光を眩しく感じるように、黒が濃ければ濃いほど光は強く輝きます。私はひたすらそう信じ、選手を輝かせる一心で黒子に徹して尽力してまいりました。黒子でありながら、それが私の輝き方でした。

人にはそれぞれ何通りもの輝き方があります。今でも十分皆さんは輝いていますが、この先さらにその輝きに磨きをかけ、自分なりの輝き方に誇りを持って歩んでください。そして必ずあなたのことを見て評価をしてくれる人、あなたを必要としてくれる人がいます。私自身が在校時に想像をしていなかった人生を今まさに歩んでいるように、人生はいつどこでどうなるかわかりません。黒子として過ごしてきた私でさえも道が開けたのですから、これからの皆さんの可能性は無限大です。白鵬から未来へ大きく羽ばたく皆さんの将来が楽しみです。感謝とご縁を大切に、皆様の今後の人生がより豊かになるよう心よりお祈りいたします。

(10) 令和6年3月3日

同窓会だより

夢に向かって

2学年副担任
吉田 小夏
(平成30年度卒業)



3年生の皆さん卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さまへ心よりお祝い申し上げます。これまで様々な場面で支えてくれた家族に感謝するとともに、皆さんの高校生活はいかがでしたか?ときには、楽しい思い出だけでなく、つらかったこと、苦しかったこともあったのではないのでしょうか。でも、今、笑顔で卒業式を迎えられているのであれば良い三年間だったと思います。私は五年前に白鵬女子高等学校を卒業しました。今でも卒業式の日のことを覚えています。そして、縁あって、今、白鵬女子高等学校で働いています。卒業した母校で、教員という立場となって戻ってくることを誰一人として想像していなかったことでしょう。

私に教員を目指すきっかけをくれたのは高校時代の部活の顧問の先生です。バレーボール部に所属していたので毎日、部活に明け暮れていました。顧問の先生は文武両道を大切にしており、技術面だけでなく精神面でも教えていただきました。その先生に憧れて、教職の免許が取れる大学に進学しました。大学では楽しいことば

かりではなかったけど、教師になるという夢のために頑張れました。今、私は教師になるという夢を叶えることができ充実した日々を送っています。些細なことでもいいので、皆さんも何か一つでも全力で取り組めることを探してみてください。目標を設定することによって、何事にも頑張る力が湧いてくると思います。

最後になりますが、これから新たな人生が始まります。環境も大きく変わりますが、高校生活で培ったものや出会った仲間を大切に素敵な人生を歩んでいってください。くれぐれもお体に気を付けて、皆さんの活躍を応援しています。たまには学校に顔を見せに来てくださいね。成長した姿を見れることを楽しみにしています。



そろばんに感謝

昭和42年度卒業 青木 早苗
(旧姓:栗原)

昨年、私が40数年会員としてお世話になっております横浜珠算振興会が創立70周年を迎えました。私がそろばん教室を始めてから50数年経っていたなんて!

なんとも感慨深い思いがいたします。

そもそも私はそろばんが大嫌

いで、補習はさぼる、そろばんは忘れると、担当の先生を困らせていた生徒でした。高校1年になり5級程度の力しかない私を下岡先生が3級以上のAコースに引き上げて特訓してくださり2ヶ月後の実務検定3級に合格することができました。落ちたら下のコースに戻すと言われ必死に練習をしました。

それから珠算教室で採点のお手伝いをさせていただきながら子供たちと接するようになりました。20歳のころ近所の子供3人からそろばんを教えてほしいと頼まれ、自宅の座敷で始めました。これが私の珠算教室のスタートでした。そのうちに生徒が友を連れてきて10数人になり、近くのお寺の本堂をお借りして続けておりましたが、見かねて父が教室らしき建物を作ってくれました。これを機に横浜珠算振興会に加入させていただきました。

それから40数年、そのころの生徒が親になりその子も、さらに孫までが通ってきてくれるなんて嬉しい限りです。これもひとえにそろばん嫌いだった私を指導くださった下岡先生のおかげと感謝しております。

京浜女子商業高等学校に奉職後は、渉外という分掌で下岡先生と同窓会の担当をさせてい

入試広報室より お知らせ

お知り合いのご息女で令和6年度中学3年生がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

〔お問い合わせ〕 入試広報直通 **045-574-0971**

ただき今日に至るまでお手伝いをさせていただいております。

でも・・・もういいでしょう？
下岡先生!そろばんも緑蔭会も卒業する時がきたようです。

そろばん、そしてご縁のあったすべての方々に感謝申し上げます。

追記:

2024年1月4日。いつもは一面から目を通す朝刊ですがこの日は何気なく最終面を開きました。そこには笑顔の近藤欽司先生の写真が!「私も東京物語」というコラムが10回にわたり掲載されるとのこと。お年玉をいただいたようでしばらくの間、朝刊が楽しみです。



「継続すれば道は開ける」 私が白鵬で学んだ ことの一つです。

社会福祉法人伸こう福祉会
保育園キディニ子・川崎
園長 田邊 千尋
(平成19年度卒業)



私の幼い時の夢は、テーマパークダンサーになることもしくは誰かのためになる仕事に就くことでした。福祉の仕事は誰かのためになれると思い、白鵬の福祉教養コースに入学しました。私は、高校を卒業して15年以上経ちますが、白鵬時代に経験したことや学んだことは今の私の基盤となっていると思います。

高校時代は介護福祉士の国家試験合格と福祉系の4年制大学

進学に向けて部活との両立をしていました。勉強や部活で思うようにいかないことが幾度もあり、そのたびにクラスや部活の仲間たちと励まし合ったり、先生方にご指導をいただいたりしながら3年間を過ごしました。途中で国家試験の受験や大学進学、部活動を辞めたいと思い、目標を失うこともありましたが、今できることをひたすら続けた結果、高校時代の目標を全て達成し、大きな自信につながりました。しかし、大学に進学した後も大好きなダンスを続けながら、児童福祉の研究に加え、更なる資格取得を目指し、社会福祉士と保育士の勉強を両立していたため、越えなければならぬ壁もたくさんありました。途中で目標を見失うこともありましたが、この時も今できることをひたすら続けた結果、新たにやりたいことを見つけ保育園へ就職をしました。就職後も好きなことは続けたいと思い、社会人チアダンスチームに所属しながら生活をしています。毎日の仕事に追われ、自分の目標を見失ったり、夢を持つことを忘れてしまったりすることもありましたが、どんな時も今できることをひたすら続けた結果、自分に合った職種を見つけることができました。就職して5年目に

今の職務に就いて保育園の子どもたちや職員たちと楽しく過ごしています。保育園の園長になることは考えていませんでしたが、好きなことを続け、常に新しいことにも挑戦し続けると自分に合った道が開けることを実感しています。4月からは8年間続けた職務から離れ、新しいことに挑戦しようと思っています。

今、思い返すと、白鵬で「継続すれば道は開ける」ことを経験を通して学びました。私は学生時代の友人や恩師とは今でも交流をもたせていただいております。学生時代に学んだことや出会った方々は私にとっての宝です。

最後になりましたが、卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。白鵬で経験したことを活かし、4月からそれぞれの道で活躍されることを願っております。様々なことに挑戦し素敵な人生を歩んでください。



いつでも 原稿募集中!



原稿などとかたくろく考えずに、気軽にお便りください。
ご主人、お孫さんの自慢話、和歌、俳句など大歓迎です。

(12) 令和6年3月3日

同窓会だより

～ 後輩たちの活躍 ～

陸上競技部

■南関東高等学校陸上競技大会 ジェシント ニョカビ (2年)

1500m決勝	優勝
3000m決勝	優勝
古田島 彩 (3年)	
1500m決勝	5位
3000m決勝	4位
勝呂 遥香 (2年)	
1500m決勝	7位
3000m決勝	5位

■全国高等学校総合体育大会 ジェシント ニョカビ(2年)

1500m決勝	2位
3000m決勝	4位
古田島 彩(3年)	
1500m予選2組	8位
3000m決勝	13位
勝呂 遥香(2年)	
3000m予選2組	12位

■神奈川県高等学校駅伝競走大会 優勝 1時間11分29秒

(3年連続15回目)
(古田島(3年)・勝呂(2年)・村井(1年)
・成澤(1年)・ジェシント(2年))
区間賞:2区 勝呂・5区 ジェシント

■関東高等学校駅伝競走大会 (31年連続出場)

優勝 1時間10分46秒
(2年連続4回目)
(古田島(3年)・勝呂(2年)・成澤(1年)
・村井(1年)・ジェシント(2年))
区間賞:2区 勝呂・5区 ジェシント

■全国高等学校駅伝競走大会 (3年連続16回出場)

第14位 1時間10分22秒
(古田島(3年)・勝呂(2年)・村井(1年)
・沼田(1年)・ジェシント(2年))

■東日本女子駅伝競走大会

神奈川県 第7位
勝呂 遥香(2年) 1区 区間9位
古田島 彩(3年) 2区 区間7位

■皇后杯全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 神奈川県 第5位

勝呂 遥香(2年) 5区 区間12位
古田島 彩(3年) 7区 区間9位

体操競技部

■全国高等学校体操競技選手権大会 県最終予選会

団体総合
優勝 3年岩田七海、藤井裕菜、
2年岡本朱里、1年紺田希香
個人総合
3位 1年 紺田希香
4位 3年 藤井裕菜
8位 3年 岩田七海

■関東高等学校体操競技大会 団体総合

優勝 3年岩田七海、藤井裕菜、
2年岡本朱里、1年紺田希香
個人総合
優勝 1年 紺田希香
9位 3年 藤井裕菜

■全国高等学校総合体育大会 体操競技大会

団体総合
8位 3年岩田七海、藤井裕菜、
2年岡本朱里、1年紺田希香
個人総合 5位 紺田希香
平均台 優勝 紺田希香
跳馬 3位 藤井裕菜
ゆか 6位 紺田希香

■特別国民体育大会体操競技 神奈川県 3位

3年 岩田七海
1年 紺田希香

■県高等学校体操競技新人大会 個人総合

2位 2年 岡本朱里
5位 2年 藤井優里菜
種目別
平均台 2位 2年 藤井優里菜
跳馬 2位 2年 岡本朱里
段違い平行棒 2位 2年 岡本朱里
ゆか 2位 2年 岡本朱里

水泳部

《競泳》

■令和5年度全国高等学校総合体育大会 第91回日本高等学校選手権水泳競技大会 小島優々美 (3年)

100m平泳ぎ 2位 1:08.13
200m平泳ぎ B決勝 4位 2:29.03
澤崎舞衣 (2年)
50m自由形 B決勝 3位 26.48
4×200mフリーリレー 14位 8:28.06
須藤璃々花 (1年) 大羽こはる (3年)
永池叶 (3年) 木所美音楽 (2年)
4×100mメドレーリレー 5位 4:14.61
宮根咲生 (1年) 小島優々美 (3年)
木所美音楽 (2年) 澤崎舞衣 (2年)

■令和5年度関東高等学校選手権 水泳競技大会

澤崎舞衣 (2年)
50m自由形 8位 26.70
小島優々美 (3年)
100m平泳ぎ 2位 1:08.77
200m平泳ぎ 7位 2:29.46
木所美音楽 (2年)
200m個人メドレー 4位 2:18.49
4×200mフリーリレー 6位 8:30.05
須藤璃々花 (1年) 大羽こはる (3年)
永池叶 (3年) 木所美音楽 (2年)
4×100mメドレーリレー 8位 4:16.36
宮根咲生 (1年) 小島優々美 (3年)
木所美音楽 (2年) 澤崎舞衣 (2年)

■第61回神奈川県高等学校総合体育大会 水泳競技大会 女子総合3位

澤崎舞衣 (2年)
50m自由形 3位 26.33
100m自由形 7位 58.69
大羽こはる (3年)
200m自由形 4位 2:06.47
須藤璃々花 (1年)
400m自由形 3位 4:27.53
800m自由形 優勝 9:09.01
宮根咲生 (1年)
200m背泳ぎ 8位 2:25.57
小島優々美 (3年)
100m平泳ぎ 優勝 1:08.66
200m平泳ぎ 3位 2:28.35

同窓会だより

令和6年3月3日（13）

川島紗波（1年）
200mバタフライ 8位 2:22.33
木所美音楽（2年）
200m個人メドレー 4位 2:18.27
400m個人メドレー 2位 4:53.04
大羽こはる（3年）
200m個人メドレー 7位 2:22.02
4×100mフリーリレー 3位 3:54.69
木所美音楽（2年）永池叶（3年）
大羽こはる（3年）澤崎舞衣（2年）
4×200mフリーリレー 3位 8:29.95
須藤璃々花（1年）大羽こはる（3年）
永池叶（3年）木所美音楽（2年）
4×100mメドレーリレー 2位 4:16.62
宮根咲生（1年）小島優々美（3年）
木所美音楽（2年）澤崎舞衣（2年）

- 第6回神奈川県高等学校
新人水泳競技大会 女子総合5位
澤崎舞衣（2年）
50m自由形 3位 26.53
100m自由形 3位 58.79
須藤璃々花（1年）
400m自由形 6位 4:32.44
川島紗波（1年）
400m自由形 7位 4:41.19
宮根咲生（1年）
200m背泳ぎ 5位 2:25.54
堺ティナ（1年）
200m背泳ぎ 7位 2:25.87
大橋一菜
100mバタフライ 7位 1:04.84
200mバタフライ 5位 2:22.48
木所美音楽（2年）
200m個人メドレー 1位 2:17.06
大会新記録
4×100mフリーリレー 7位 4:11.58
須藤璃々花（1年）川島紗波（1年）
橋本真友（1年）堺ティナ（1年）

《水球》

- 第46回全国JOC
ジュニアオリンピックカップ
夏季水球競技大会水球
白鵬女子高等学校 第4位
（3年：橋本彩星、林日彩、猪狩瑚音、石森愛栂、成畑凌乃亜、安藤史織 高山紗映／2年：鈴木伽望、栢あずな、松本小帆／1年：下田茉阿、畠山桜來）
優秀選手 3年 橋本彩星

- 第16回（2023年度）全日本ユース（U15）水球競技選手権大会
一桃太郎カップ 第5位
（1年：下田茉阿、畠山桜來、本村栞奈、廣瀬渚、河原叶奈）
ベスト7（優秀選手）本村栞奈

- 第78回国民体育大会
一燃ゆる感動かごしま国体
水泳競技水球 女子（年齢制限なし）
神奈川県 第5位
3年 橋本彩星 猪狩瑚音
2年 鈴木伽望 栢あずな
松本小帆

新体操部

- 関東高等学校新体操大会
県予選会
個人総合
優勝 3年 花見結衣
3位 2年 田邊観世埜
8位 1年 佐藤真尋
- 関東高等学校新体操大会
個人総合
5位 2年 田邊観世埜
6位 3年 花見結衣
ボール 3位 3年 花見結衣
クラブ 3位 2年 田邊観世埜
- 全国高等学校総合体育大会
新体操大会
女子個人総合
4位 2年 田邊観世埜
女子個人種目別
クラブ 3位 2年 田邊観世埜
ボール 5位 2年 田邊観世埜
- 全国高等学校新体操選手権大会
県最終予選会
優勝 2年 田邊観世埜
2位 3年 花見結衣
7位 1年 佐藤真尋

- 県高等学校体操競技新人大会
女子個人フープ
優勝 2年 田邊観世埜
2位 1年 佐藤真尋
女子個人リボン
優勝 2年 田邊観世埜
2位 1年 佐藤真尋

スキー部

- 第51回神奈川県高等学校スキー大会
兼 関東・全国高等学校スキー大会
県予選出場（令和6年1月4日～6日）
3年 細田光希
女子SL（回転競技） 第2位
以上の結果からインターハイ・
関東大会出場権獲得

ソフトボール部

- 令和5年度神奈川県高等学校
秋季新人ソフトボール大会
4位
- 第54回東日本大会（3月25日～
29日）出場権獲得
- 令和5年度横浜地区高等学校
ソフトボール大会 優勝

バレーボール部

- 第29回神奈川県高等学校
バレーボール男女選手権大会 兼
第76回全日本バレーボール
高等学校選手権大会神奈川県予選会
16シード獲得
- 令和5年度横浜地区夏季
バレーボール大会 ブロック優勝
- 令和5年度横浜地区秋季
バレーボール大会 ブロック優勝
- 第31回神奈川県私立高等学校
男女バレーボール選手権大会
3位入賞

バスケットボール部

- 第60回神奈川県高等学校総合
体育大会バスケットボール競技 兼
令和4年度全国高等学校体育大会
バスケットボール競技神奈川県予選
兼 第75回全国高等学校バスケット
ボール選手権大会神奈川県予選
ベスト4
- 神奈川県高等学校秋季バスケット
ボール大会 兼 ウインターカップ2023
令和5年度第76回全国高等学校
バスケットボール選手権大会
神奈川県予選会 ベスト4

(14) 令和6年3月3日

同窓会だより

サッカー部

- 第12回 神奈川県高校総合体育大会 女子サッカー大会(兼) 全国高等学校総合体育大会 女子サッカー大会神奈川県予選 出場
- 第32回 神奈川県高等学校女子サッカー選手権大会(兼) 全国高等学校女子サッカー選手権大会神奈川県予選 出場 ベスト8
- 第30回 神奈川県高等学校女子サッカー新人大会 出場
- 令和5年度神奈川県高等学校女子サッカーリーグ 2部リーグ参戦

吹奏楽部

- 4月 白鵬アリーナ竣工式演奏
- 6月 体育祭演奏
- 7月 第24回横浜吹奏楽コンクール 銀賞
- 10月 記念祭演奏
- 11月 第24回横浜アンサンブルコンテスト 銀賞
- 12月 部内クリスマスコンサート
- 3月 三送会演奏
- 第11回定期演奏会

弓道部

- 令和5年度神奈川県民大会 兼 国体予選会 出場
- 令和5年度神奈川県春季大会 兼 関東大会県予選会 出場
- 第60回神奈川県総合体育大会 兼 全国総体県予選会 出場
- 関東個人選抜大会県予選会 小潟楓 第12位
- 第42回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 出場
- 新人戦大会 出場
- 神奈川大会団体 兼 全国選抜大会県予選会 出場
- 第8回神奈川県私立高等学校弓道大会 出場

フィギュアスケート部

- 第46回リリーカップカナガワ 神奈川県フィギュアスケートフリー選手権大会 ジュニア女子I 優勝 杉本くるみ (3年)
- 2023 関東選手権大会 ジュニア女子 23位 西川 梨羅 (2年) 50位 杉本くるみ (3年)

- 第27回ウィンタートロフィー兼 第78回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会県選考会 ジュニア女子 17位 西川 梨羅 (2年)

演劇部

- 令和5年度 第36回横浜市高等学校演劇連盟春季発表会 (春の演劇フェスティバル) 審査員最優秀賞受賞 演目「かざぐるま」
- 令和5年度 第60回横浜市高等学校演劇発表会出場 地区大会 最優秀賞受賞 中央大会 最優秀賞受賞 生徒審査員最優秀賞受賞 テアトルフォンテ賞受賞 演目「楽屋～流れさるものはやがてなつかしき～」
- 令和5年度 第62回神奈川県高等学校演劇発表会出場 県大会 神奈川県高等学校演劇連盟 会長賞(優秀賞) 受賞 演目「楽屋～流れさるものはやがてなつかしき～」

吹奏楽部 第11回 定期演奏会

令和6年3月22日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ※入場無料

栄区文化センター「リリース」

JR京浜東北線(根岸線) 横浜駅より25分・大船駅より4分
本郷台駅より徒歩3分

【演奏曲】 天女の舞

～能「羽衣」の物語によるラブソディ～
マードックからの最後の手紙
マーチ プロヴァンスの風
千と千尋の神隠し
Love so sweet 他

【指揮】 村松功介(本校コーチ)



同窓会だより

令和6年3月3日（15）

■令和4年度 事業報告書

令和5年5月10日

科 費 目	4 年度予算額	4 年度決算額	摘 要
【収入の部】	4,151,296	4,151,303	総収入金額
会 費	3,276,000	3,276,000	364人×9,000円
積立金取崩し	0	0	
雑 収 入	20	27	銀行預金の利息等
前期より繰り越し	875,276	875,276	令和3年度よりの繰越金
【支出の部】	3,336,680	1,803,575	総支出額金額
(本部費)	130,000	57,200	
事務局 費	10,000	0	書式作成費・通信連絡費等
会 議 費	70,000	57,200	会議費(交通費・食事代)
用具備品費	0	0	
本部予備費	50,000	0	冠婚葬祭関係・その他
雑 費	0	0	
(事業費)	3,206,680	1,746,375	
生徒会補助費	200,000	200,000	生徒会へ特別補助
体育祭補助費	200,000	200,000	体育祭補助費 生徒会へ
記念祭補助費	200,000	200,000	記念祭補助費 生徒会へ
広 報 費	320,000	308,715	緑蔭会だより製作費・発送費
積 立 金	1,500,000	0	特別事業費積立(定期預金へ)
部活動支援費	600,000	650,000	全国大会出場等
卒業記念品	186,680	187,660	令和4年卒業生 364人
予 備 費	0	0	
(次期繰越金)	814,616	2,347,728	次期繰り越し予定額

■令和5年度 事業予算書

令和5年5月10日

科 費 目	5 年度予算額	5 年度決算額	摘 要
【収入の部】	5,551,728		総収入金額
会 費	3,204,000		356人×9,000円
積立金取崩し	0		
雑 収 入	20		銀行預金の利息等
前期より繰り越し	2,347,728		令和3年度よりの繰越金
【支出の部】	4,763,600		総支出額金額
(本部費)	220,000		
事務局 費	10,000		書式作成費・通信連絡費等
会 議 費	150,000		会議費(交通費・食事代)
用具備品費	0		
本部予備費	50,000		冠婚葬祭関係・その他
雑 費	10000		
(事業費)	4,543,600		
生徒会補助費	200,000		生徒会へ特別補助
体育祭補助費	200,000		体育祭補助費 生徒会へ
記念祭補助費	200,000		記念祭補助費 生徒会へ
広 報 費	350,000		緑蔭会だより製作費・発送費
積 立 金	1,500,000		特別事業費積立(定期預金へ)
部活動支援費	700,000		全国大会出場等
卒業記念品	193,600		令和5年卒業生@550 352人
予 備 費	1,200,000		白鵬アリナー記念品代(花瓶)
(次期繰越金)	788,128		次期繰り越し予定額

(16) 令和6年3月3日

同窓会だより

事務局より

編集後記

新型コロナウイルスが5類へ移行し、「コロナ前の生活へ」というフレーズを耳にすることが多くなりました。経済活動や学校・地域なども、さまざまな感染対策を継続することで活動が再開しました。本校も、ITを活用しながら双方向型の授業を行ったり、体育祭や記念祭、海外修学旅行、短期・中期・長期の留学プログラム、部活動、委員会活動を実施したりするなど、活気ある学校生活に戻ることができています。刻々と社会情勢が変化する中で、生徒たちは自分自身の目標を定め、その達成に向けて日々努力を重ねることで、様々な場面で素晴らしい成果を挙げています。

学業面では、国公立や難関私立大学、海外大学に合格するなど、年々進学実績を伸ばしています。さらに、部活動では、日頃の練習の努力が実り、その多くが全国大会、インターハイ出場を果たしています。なかでも陸上競技部は、令和5年12月24日に京都で開催された全国高校駅伝競走大会で上位入賞を果たすなど、関東圏の強豪校として名を連ねています。卒業生の皆様も、このような後輩の華やかな活躍を知り、喜びもひとしおなのではないでしょうか。

本校の教育方針である「知・徳・体」の円満なる育成に基づき、「志を高く、夢は大きく」といった精神を掲げ、生徒一人ひとりの夢の実現をサポートし、花開かせるような本校の教育活動が多くの受験生と保護者の方々に受け入れられ、進学先として「選ばれる学校」に進化を続けています。生徒数1,000人超の女子高校として、カリキュラムの刷新および新コースの設置など、ますます躍進しています。

90周年に向けて、輝き続ける白鷗女子高校。常に「新しさ」を追求し、女子教育の先駆者となるべく歩み続けて参ります。卒業生の皆さん、後輩の活躍と本校の「新たな歩み」を見に是非母校へお越し下さい。教職員一同、心よりお待ち致しております。

(緑蔭会事務局)

計 報

縄島 保雄先生 (旧職員) 2023年7月 逝去

～ 謹んでご冥福をお祈り申し上げます ～

今年度も3名の新役員が加わり、計23名となりました。次年度も母校の発展のための支援と活発な同窓会の活動をして参りたいと思います。

三田 美紀 (昭和59年度卒)

早川 綾子 (昭和61年度卒)

升水由紀子 (昭和61年度卒)

お 願 い

◇来年度の本誌への寄稿をお願いします。
年内に本校緑蔭会事務局に近況報告等の原稿をお送りください。

◇住所変更(住居表示の変更)などがありましたら、お知らせください。
住所・氏名(旧姓も)・卒業年度・クラスを忘れずにご記入下さい。

◎ご意見・ご希望などありましたら、お寄せください。